

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年5月30日

宮崎市長 殿



提出者

住所 宮崎市鶴島三丁目252番地
氏名 宮崎市上下水道事業管理者
上下水道局長 下郡 嘉浩
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0985-26-3336

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大淀処理場
事業場の所在地	宮崎市大字田吉字番所下 4853 番地 4
事業の種類	下水道処理業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	11,000 t	全処理委託量	1,100 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	700 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	10,000 t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	400 t

※事務処理欄

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)

この表は、産業廃棄物の種類ごとに作成してください。

項目	実績値
①排出量	10,357
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	9,288
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1,069
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑭再生利用業者への処理委託量	714
⑫熱回収認定業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	340

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接再生利用した量
0

排出量
① 10,357

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0

④ 自ら中間処理した量
9,628

⑥ 自ら中間処理した後の残量
340

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0

⑦ 自ら中間処理により減量した量
9,288

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
1,069

左表は自動入力のため記入不要です。

⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量
0

⑫のうち再生利用業者への処理委託量
714

⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量
0

⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
340

単位:t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書 集計表

(別紙)

単位：t

	産業廃棄物の種類	汚泥										合計
①	排出量	10,357										10,357
②	自ら直接再生利用した量	0										0
③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0										0
④	自ら中間処理した量	9,628										9,628
⑤	④のうち熱回収を行った量	0										0
⑥	自ら中間処理した後の残さ量	340										340
⑦	自ら中間処理により減量した量	9,288										9,288
⑧	自ら中間処理した後再生利用した量	0										0
⑨	自ら中間処理後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0										0
⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1,069										1,069
⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0										0
⑫	⑩のうち再生利用者への処理委託量	714										714
⑬	⑩のうち熱回収認定処理業者への処理委託量	0										0
⑭	⑩のうち、熱回収認定処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	340										340

項目	実績値
①排出量	10,357
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	9,288
③+④自ら埋立処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1,069
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用者への処理委託量	714
⑬熱回収認定処理業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定処理業者以外の熱回収業者への処理委託量	340



(この部分の入力は不要です)

※立米 (m³) は、トン (t) に換算の上、記入してください。(換算係数は、市ホームページ中「マニフェスト交付等の状況報告」に掲載しております。
 ※「ガコン陶」は、「ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず」です。